

令和3年度 入学試験問題 小論文（国際地域学科）出題意図と解答例

〈出題意図〉

問題文はモチベーションやパフォーマンスへの影響の点から、ほめることの功罪及び適切なほめ方について述べている。専門書の中では読みやすい文章であり、実験を例示しながら論が展開される部分もあり、内容、分量ともに適切な水準となっている。

教師が子どもをほめることは「良いこと」として日常的に行われていると考えられるが、問題文の中では研究成果に基づいてほめることによってモチベーションやパフォーマンスが低下する理由も述べており、安易にほめることについて警鐘を鳴らしている。問題文で展開される議論は、初等教育に関する専門的知識と現代社会における子どもの教育問題について考える態度を身に着けさせようとする函館校の国際地域学科地域教育専攻の趣旨と合致する。本問題が受験生にとって、教師のほめ方が子どもにどのような影響を及ぼしうるのか、多角的に考えるきっかけとなることが期待される。

【設問1】

空欄〈図3-1〉〈図3-2〉には、それぞれ実験の結果を示すグラフが入る。本文の内容に照らしてもっとも適切な図を選び、それぞれ記号で答えなさい。また、そのように判断できる理由を、本文中の言葉を用いて251字以上300字以内で説明しなさい（150点）

〈解答〉

図3-1           b        
図3-2           f      

〈解答例〉（25文字×12行）

図3-1は「能力（頭の良さ）」をほめられた「第1グループ」と何も言われなかった「第2グループ」の結果を示すものである。「第3グループ」については、後述する」とあるので、この2つが議論された図である。また最初のテストで両者同じ成績であるのに、最後のテストでは能力をほめられたグループの成績が悪く、最初に比べて落ち込みを示した。一方称賛なしのグループは変化がないことからグラフbとわかる。図3-2では「努力」をほめられた「第3グループ」の情報が加わる。本文中には、同グループが難しい課題選択に意欲を示して「最後のテスト」で好成績を収めたと述べられているので、グラフfが適切だと判断できる。

（25×11行+18字=293字）

## 【設問2】

本文中に示される実験結果及びほめることによってモチベーションやパフォーマンスが低下する理由を踏まえて、次の〈場面〉での教師のほめ方を批判的に論じなさい。さらに、次の〈場面〉で適切だと考えられる教師のほめ方の具体例を1つ挙げ、その理由を述べなさい。なお、文字数は全体で601字以上700字以内とする。(250点)

〈解答例〉(25字×28行)

場面の中で教師は様々なほめ方をしているが、それらのほめ方が児童たちのモチベーションやパフォーマンスを低下させたかもしれない。教師の「あなたたちに力があるからだよ。」というほめ方は能力の面をほめている。このほめ方では児童が今後、時間内に掃除を終えることに失敗したときに、その原因を能力不足だと捉える恐れがある。また、能力をほめることで「この基準を保たなければならない」というプレッシャーから失敗を恐れ、難しい課題を避けるようになる。この事例に当てはめると、「時間内に掃除を終えられない」という失敗を恐れるあまり掃除の仕方が雑になっていった点が該当するであろう。さらに、学級全体の前でほめることで、児童たちに「引き続きうまくやらねばならない」というプレッシャーがのしかかり、不安を高め、最終的にパフォーマンスを低下させて、時間内に掃除を終えることができなくなったと考えられる。

この場面で適切だと考えられるほめ方として、「時間内に掃除を終えることができたのは、みんなで時間を意識しながら助け合ったからだね」と、能力ではなく努力をほめる方法が挙げられる。人は能力をほめられると困難な状況を避け、まじめな努力をしなくなる一方、努力をほめられることでモチベーションが高まり、努力を惜しまず、困難に直面してもくじけず、最高のパフォーマンスをおさめるようになる。この場面で教師が児童たちの努力をほめ続けることで、時間内に掃除を終えられることを超えて、より難しい課題として隅々まできれいに掃除した上で時間内に掃除を終えることに自ら挑戦するかもしれない。

(25字×27行+6字=681字)